

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                |    |             |
|----------------|----------------|----|-------------|
| ○事業所名          | そら（放課後等デイサービス） |    |             |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年11月14日     |    | ～ 令和7年12月5日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)         | 21 | (回答者数) 15   |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年11月14日     |    | ～ 令和7年12月5日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)         | 5  | (回答者数) 5    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年2月6日       |    |             |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                  | 工夫していることや意識的に行っている取組等                            | さらに充実を図るための取組等  |
|---|---|--|---|
| 1 | 大人数乗れる車での外出や、施設の近くに広い公園がいくつかあるなど、活動の幅が広く様々な内容を提供することができている。 | 月1回、チーム会議を行い、話し合いの場で具体的な意見交換を行い、活動に反映することができている。 | 他施設の活動を聞いて参考にしたり、常勤の職員だけではなく非常勤職員のアイデアも取り入れ、さらに活動のレパートリーの幅を広げていきたい。 |
| 2 | 看護師、作業療法士、保育士の多職種連携体制がある。立場関係なく意見やアイデアを出して活動を担当している。        | 常勤だけでなく非常勤の職員からの意見も取り入れて運営を行っている。                | どの立場の職員でも発言しやすい環境設定を行ない、より良い療育が提供できるよう努める。                          |
| 3 |   |  |   |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                        | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|---|--|---|
| 1 | 経験年数や個人の考え方などにより、支援のスキルに差が出ている場面が見られることもある。                       | 経験だけではなく、支援知識の差もあって統一した支援の難しさが生じている。   | 研修参加や勉強会を増やし、全体の知識や支援力の底上げを行っていく。<br>様々な場面で職員が経験を積む機会を作っていく。<br>経験年数の長い職員に相談し、アドバイスを受けられる機会を設けていく。    |
| 2 | 地域の他の児童との交流の場を持つことが少ない。   | ご利用が放課後で短い時間のため、そのような場に出向く機会が少ない。（時間が取れない）<br>保護者様の中には「交流は必要ない。」というお声もあり、悩んでいる。                        | 長期休暇など、時間に余裕がある時に地域の公共施設などに出向き、交流できる機会を持つようにしていく。   |
| 3 | 放課後等デイサービスは小中高生が利用しており、子どもの体格もよく、動きや運動量も多い為、「少し部屋が狭いのでは。」という声がある。 | 活動の内容や曜日によって利用に中高生が多いと、狭く感じる。<br>雨天時、元気の良い子がボール投げをしたりボウリングをしたりすると活動場所を広く要するため、狭く感じたりトラブルに発展したりすることもある。 | 運営基準は満たしているが、賃貸物件で収納も少なくこれ以上活動場所を広げる事は現実的に難しい。長期休暇は外出などできるので良いが、学校のある日は、活動内容を工夫したり、集団活動をメインに行ったりしていく。 |